



# NME News

Nutritional Management Expert News

栄養経営士のための情報紙

2023  
3月号

●発行／一般社団法人  
日本栄養経営実践協会  
(JANMP)  
〒104-0032  
東京都中央区八丁堀3-20-5  
S-GATE八丁堀9階  
●制作／株式会社日本医療企画

お問い合わせ先／一般社団法人 日本栄養経営実践協会 事務局 TEL.03-3553-2903 FAX.03-3553-2904 <http://nutrition-management.jp>

## 松本尚衆議院議員と宮澤靖代表理事が対談 栄養部門のアウトカム評価に マネジメント能力を活かせ



松本尚衆議院議員(左)と宮澤靖代表理事

### 管理栄養士の病棟常駐が 患者と病院に有益なことを示そう

2月16日(木)、日本栄養経営実践協会の宮澤靖代表理事が衆議院第一議員会館(千代田区永田町)に松本尚氏(衆議院議員、日本医科大学特任教授)を訪ね、管理栄養士を取り巻く状況についての対談を行った。この模様は雑誌「ヘルスケア・レストラン」(株式会社日本医療企画刊)4月号(3/20発行)に掲載されており、今号ではその概要と、掲載誌について紹介する。

現在、令和6年度診療報酬改定に向けて中央社会保険医療協議会等で議論が始まっているが、栄養関連の注目はやはり「入院栄養管理体制加算」の行方であろう。現在は特定機能病院のみが算定対象となっているが、NST加算のとぎと同等、段階を経ながら全国の医療機関が対象になるとの見方もある。

また、医師の働き方改革によりタスクシフト・タスクシェアが進

められ、各職種の病棟での存在意義が大きくなってきている。今後、管理栄養士が病棟で活躍することは必ずであり、その体制づくりは急務である。

「厚生労働省所管国家資格一覧(保健医療・福祉関係)」では、管理栄養士は医療関連ではなく健康関連として記載されている。そのため、厚労省から出されたタスクシフト・タスクシェアの推進についての文書に管理栄養士が入っていないなど、現場との乖離が指摘されている。

こうした現状を打破するべく、衆議院議員である松本氏と宮澤代表理事の対談が実現したのである。

患者の治療成績向上と医療費削減を両立する

松本氏は日本医科大学千葉北総病院でフライトドクターを務め、長年にわたり救命医療に取り組みできた医師でもある。そのため急性期医療での栄養管理の必要性を十分理解されており、対談では宮澤代表理事に対し「急性期医療で重症患者を任せられる管理栄養士の数はどのくらい?」「管理栄養士が病棟常駐することで得られるアウトカムは?」といった鋭い質問を投げかけた。

宮澤代表理事は、勤務先である東京医科大学病院で病棟常駐が患者の早期経口摂取につながっていることや、前職の近森病院では患者の栄養状態の改善により抗菌薬の使用を約1億円低減できたことなどを紹介し、いかに病棟常駐が患者と病院

にとって有益かを示した。この他にも、卒業教育の問題など、さまざまな内容が話し合われた。

この対談の最後で、協会と栄養経営士は松本氏から大きな宿題をいただいている。栄養経営士はぜひこの対談の記事を読み、管理栄養士の未来に向け何ができるかを考えて、実行して欲しい。

★掲載の号は下段参照

パブリックコメント  
厚労省HPで募集中

現在、厚労省では医療従事者の職種について規定している「平成十九年厚生労働省告示第五十三号」について、「医療従事者の職種に管理栄養士及び栄養士を追加すること」を含む改正案の意見募集をしています。4月11日まで受付中なので、ぜひご意見をお送りください。



『ヘルスケア・レストラン』4月号

対談掲載号

好評  
発売中!

### 特集 食べて元気に歩くため 栄養の力を信じ抜こう

疾患の治療が最優先となる急性期で患者は高侵襲下の異化亢進状態にあり、オーバーフィーディングは予後悪化につながりかねない。循環動態が不安定になれば、場合により消化管の使用そのものが腸管虚血のリスクにつながる可能性もある。結果、栄養状態が悪化したまま回復期リハビリテーション病院などへ転院になることが少なくない。そうした状態で入院してきた患者に対し、回復期や慢性期の施設では、どのように栄養管理を行って栄養状態の改善を図り、患者の希望の実現へついでいくかを考える。

特集内容

◆「ヘルスケア・レストラン」トークライブ 第9弾レポート  
[リハビリテーションと栄養管理]  
栄養の力を信じ諦めないこと  
それが患者の希望の実現へとつながる  
西岡 心大氏  
(一般社団法人是真会長 崎リハビリテーション病院法人本部教育研修部 副部長、  
栄養管理室 室長 / 一般社団法人日本栄養経営実践協会 理事)

[管理栄養士特別対談]  
回復期から生活期へとバトンをつなぐ  
ライフスタイルを尊重した栄養管理を実践しよう  
岩熊 麻美氏  
(医療法人社団厚生会初台リハビリテーション病院回復期支援部 サブマネジャー)  
藤浦 美由紀氏  
(医療法人社団久和会老人保健施設マイライフ尾根道栄養科)

スペシャル対談

国民皆保険制度を死守するため適切な栄養管理の提供が不可欠となる  
松本尚氏(衆議院議員 / 日本医科大学 特任教授)  
宮澤靖氏(東京医科大学病院栄養管理科 科長 / 一般社団法人日本栄養経営実践協会 代表理事)



『ヘルスケア・レストラン』トークライブに宮澤靖代表理事が登壇  
「いま問われる管理栄養士のあるべき姿」を語る

# 施設唯一の栄養専門職である誇りとモチベーションを持ち職務に邁進しよう

業務から教育、論文まで多様な質問に回答

3月10日(金)、雑誌『ヘルスケア・レストラン』(株式会社日本医療企画)主催で行われたトークライブ「W改定目前企画」に、ま問われる管理栄養士のあるべき姿」に本協会の宮澤靖代表理事が登壇した。当日は佐々木修編集長が司会を務め、その場で寄せられた多数の質問に対し、宮澤代表理事が回答した。

最初に令和4年度診療報酬改定での栄養の動きについて尋ねられた宮澤代表理事は「ポイントには2つある。ひとつは急性期から重症患者に対する栄養管理の診療報酬について新設・見直しがあったこと、もうひとつはNSTの存在について。障害者病棟の加算枠が増えたが、入院栄養管理体制作算がついてもNSTは不動だった。

た。これは新たなNSTのスタイルが求められているのではないかと語り、管理栄養士の病棟常駐について今後の展開やNSTとの両立、専従という枠の撤廃等、持論を展開した。

その後は慢性期における栄養管理についてやスタッフ教育、回り回りのアウトカム出し方、栄養サマリーについてなど、さまざまな質問にその場で回答していった。

「マネジメントするうえで二番手三番手には何を期待するか」という質問には「じつは彼らが部署のキーパーソン。そこがいかにか力を発揮できるかで部署全体のパフォーマンスが変わる」と答えた。

スタッフだったという。「私は部署としての方向付けを行い、上層部や他部署との交渉をしただけ。実際の教育プログラム作成や実行は部署の二番手三番手が担当した。彼らが部署の変革を推進し、スタッフ教育のインストラクターになれば、変革が滞りなく進むと思う」と経験談を交えて説明した。

寄せられた質問のなかには「50床の回復期病院に勤務しているが、1年目で上が全員辞めてしまい困っている。どうスキルアップすればいいのか」という大変切実な悩みもあり、宮澤代表理事は「地域で研修できるような施設があればその門戸を叩き、都内ならぜひ当院(東京医科大学病院)に来て。それが難しければ『栄養指導ナビ』などのオンライン教材もあるので、活用して欲しい。どう

かくじけずにがんばって」と質問者を励ました。最後に「私たちは施設内で唯一の栄養専門職で、患者さんの命を預かっている。そこにモチベーションと誇りを持って欲しい。持っている知識と技術を国民の皆さんに還元することは、国家資格を持つ者の義務」と語り、また「何かあっても一人で悩まないで。多くの仲間をつくり、交流を深め、一人職場でもくじけずに自分に与えられた使命をまっとうすれば、必ず勝機は見えてくる。それでもくじけそうになったら、いろんな先生の門戸を叩いて欲しい。きっと助けてくれるはず。皆さんが一人でも多くの人を助けられる管理栄養士になることを願っている」と視聴者に呼びかけて、トークライブを締めくくった。

★今回の開催予定は第4面の「情報掲示板」をご覧ください

## 2023年度「栄養経営士」資格認定基礎講習(会場/web)

### 病棟常駐に向け業務・人材のマネジメント能力を身につけるのは今!

病院や介護施設において栄養部門は今どのような状況に置かれているのか、そして患者・利用者の治療成績向上と施設経営の両方に貢献していくためには管理栄養士は何を考えてどう動けば良いのか。「経営・マネジメント」の視点からこれらを読み解き、これからの管理栄養士のあるべき姿である「栄養経営士」について理解していただくのが「基礎講習」です。所属や資格に関係なく、病院・施設での栄養管理についてご興味のある方ならどなたでも受講いただけます。奮ってご参加ください。

★会員は特別価格で受講できます。復習・再確認にぜひご利用ください!



講師：宮澤 靖  
一般社団法人日本栄養経営実践協会 代表理事  
東京医科大学病院栄養管理科 科長

#### 〈講義内容〉

0. 「栄養経営士」に必要な能力について
1. なぜ、今栄養部門が重要になっているのか
2. 自分が勤める栄養部門の現状分析
3. 具体的な目標設定と達成に向けた実践的アプローチ
4. 部門の業務の質を高めるためのアウトカム指標とは
5. 「栄養経営士」に求められる教育と人事能力
6. 病態把握能力と臨床栄養教育

#### 〈参加者のレポートより〉

「職場内で実践できるものがあると感じた。今後は他職種に栄養科を頼ってもらえるよう、病棟に行って行動していきたい(病院勤務)  
「給食管理方法を改革・改善した価値に、講義を聞いて改めて気づけた。今後は利用者様を診て判断し介入できる、自立・自動の管理栄養士を目指したい(高齢者施設勤務)  
「業務に妥協せず、講義で習った変革のステップをもとに勇気を出して業務変革を実践していきたい(有床診療所勤務)  
「今回勉強したことを持ち帰り、問題の提起と解決に向けて栄養科全員で取り組みたい(特養勤務)

#### 〈開催スケジュール〉

会場	日程	申込締切
東京	4月16日(日)	3月30日(木)
札幌	7月23日(日)	7月6日(木)
仙台	11月18日(土)	11月2日(木)

時間:10時~17時(予定) 受講料:【一般】8,500円【会員】3,850円

★基礎講習は勤務年数・資格に関係なく、どなたでも受講いただけます!  
★全会場でweb受講を受け付けています

基礎講習のお申込み・  
詳細はこちらから➡



#### 〈お問い合わせ〉

一般社団法人日本栄養経営実践協会 事務局  
TEL:03-3553-2903

# 支部NEWS

## 九州支部

### 【九州支部】 セミナーレポート

# 高齢者が抱える骨代謝疾患を内分泌の機序から学ぶ!

## 管理栄養士のための基礎医学講座～内分泌&骨代謝編～

日本栄養経営実践協会九州支部は2月18日(土)、「内分泌と骨代謝」をテーマとした「管理栄養士のための基礎医学講座」を開催しました。この講座は管理栄養士が業務を行う上で必要な、基礎的医学の知識習得が目的とし、年に2回行っています。講師は九州女子大学家政学部栄養学科教授で医師の三浦公志郎氏が務め、会場受講とライブ配信のハイブリッドで行いました。

### 内分泌が関係する幅広い疾患の基礎を学ぶ

このテーマを選んだ理由について、講師の三浦氏は「骨疾患や骨粗しょう症は高齢者、とくに女性に多く、栄養指導の際も把握しておくことが必要になる。骨代謝を理解するには内分泌を理解する必要があるが、内分泌をテーマにした勉強会は少ないため」と参加者に伝えました。

前半は内分泌疾患についての講義でした。細胞から物質(ホルモン)を放出し、血液を介して細胞が受け取ることを「内分泌」といいます。ホルモンの種類はさまざまですが、大きく分けて4種あり、ペプチド、ステロイドホルモン、アミノ・アミノ酸誘導体ホルモン、ビタミンに分けられます。脳下垂体や甲状腺に関連した、ホルモンの異常で起こりやすい疾患だけでなく、血圧を調整するレニン・アンジオテンシン・アルドステロン系や心疾患関連にペプチドホルモンがあることなど、内分泌から起こるさまざまな疾患について解説しました。

### 骨粗しょう症を中心に疾患の原因や治療法を紹介

後半では、骨代謝について講義を行いました。三浦氏は毎回、テーマに関する最新の論文を紹介しており、今回は骨や骨格筋に関して「食事やサプリメントでカルシウムの摂取量を増やしても骨折予防に結びつかず、骨密度の改善も期待できない」「タンパク質摂取量とは独立して、朝食のアミノ酸スコアが高いほど高齢者の筋力低下抑制に関連する」等の論文を取り上げました。

カルシウムやリンの代謝について、骨形成と骨吸収の復習を行い、副甲状腺機能異常の場合は骨代謝に関するホルモンがどのようにカルシウムやリンに影響を与えるのか説明しました。副甲状腺機能が亢進される場合は骨吸収が上がり骨粗しょう症が進み、低下すると筋肉が収縮します(テタニー)。

骨粗しょう症については、骨軟化症と比較して骨の質の問題ではなく、量に問題があると伝えました。リスクとして、閉経、加齢、ステロイドの投与などがあります。また、それ以外の要因によるものを続発性骨粗鬆症といい、栄養性原因として胃切除後、食欲不振、吸収不良症候群、ビタミンC欠乏、ビタミンAの過剰などがあげられると説明しました。

骨軟化症の原因では、ビタミンDの欠乏があります。ビタミンDは食事でもとる必要があり、日

光での活性が必要で、最近は日光浴不足で乳幼児に骨軟化症が増えているそうです。

骨粗しょう症の治療ではビスフォスフォネート系が第一選択薬となります。骨吸収を阻害する効果があるもので、食品中のカルシウムと結びつくと効果がなくなります。そのため朝食前に飲む必要があるものの、飲み忘れが多い薬となっており、栄養指導の際も確認が必要だと強調しました。

参加者からは「講義がわかりやすく、楽しみにしている。他の講義ではどんな症状が出るかの項目を読み上げるだけのことが多いが、三浦先生は理由を説明してくださるので、関連性がわかり覚えやすい」「整形外科を担当しているので、骨折の治療、薬剤など教えていただき勉強になった」という声があり、明日からの業務に即役立つ内容に満足いただいたようでした。

### 管理栄養士の職域を広げ、地位を高めるために(2018～)

「栄養」は、「教育」と並んで、誰にとっても身近。身近だから、看護師も、薬剤師も、調理師も、誰もが自分のやり方「オレ流」を持っていて、つい口を出しやすい。それぞれの職種が「栄養は、自分にもできる」と思っている。栄養を軽んじる医師も少なくない。しかし、「栄養」は身近でありながら実は専門的にはとても難しい。「栄養」は奥が深く、個々の患者に合わせた栄養を考えることは容易でなく、管理栄養士にしかできないことも多い。だからこそ、それをもっとアピールしなくてはならない。

- ✓勉強      ガイダンスや論文(特に英語)を読む(エビデンス)。学会発表する。論文を書く。修士、博士をとる。まずは、学会へ行こう!!
- ✓運動療法      外来の栄養指導で、運動療法もしっかり指導する。
- ✓心理      効果的な栄養指導のために、心理学を取り入れる。
- ✓食事介助      管理栄養士自身が、患者の食事介助をする。病棟での管理栄養士の存在感を高める。口だけ出す管理栄養士から、手も出す管理栄養士へ。

毎回必ず「基礎医学講座を開催している意味」を伝えている

## ★新会員サービス「オンラインサロン」大好評開催中!

# 診療報酬に関する不明な点は院内の専門家に相談しよう!

本協会の栄養経営士・栄養経営サポーターのみが無料で参加できる「オンラインサロン」。第21回は2月22日(水)18:30より行われました。協会からは宮澤靖代表理事、山下茂子理事、真壁昇理事、田中智美理事が出席し、参加者からの質問に対しみんな意見を出し合いました。

この日のオンラインサロンは宮澤代表理事と真壁理事の参加が遅れ、山下理事と田中理事の2名でスタート。山下理事からは「(物価高と鳥インフルエンザの影響で)九州ではタマゴの仕入れが1パック380円まで上がった」との報告があり、田中理事からは「当院では、今年の水道光熱費が昨年に比べて+2億円になると試算が出た」との話がありました。厳しい状況は続きますが、気持ちだけは前向きにいききたいものです。

この日は最後に「HCUでの早期栄養介入加算をとっているのだが、栄養モニタリングの内容と、モニタリング3回のカルテ記載の時間帯をどうしているかを聞きたい」という質問がありました。

真壁理事は「朝8時半からのカンファレンス・回診のとき、11時に行われる多職種でのカンファレンス、17時から行う当直を交えた回診のときと、食事に関係なく3回行っている。食事自体は看護

師等に見てもらい、問題があれば知らせてもらっている」と自院の状況を説明しました。

田中理事からは「だいたい真壁理事と同じで、モニタリングの内容も一般的に書かれているところは入れている。ただ、当院で行っている具体的な方法を伝えても、地域が変われば難しいのではないかと。早期栄養介入管理加算に記載されている内容をどう解釈するかで変わり、解釈の仕方は各都道府県の厚生局によって変わることがある。記載も1日3回のモニタリングではなく、栄養管理についての記載とも解釈できる。診療報酬については、医事課や担当部署と相談し、病院の方針とすり合わせて『こういう風に取り組んでいく』と決めた方がよいのでは」と指摘がありました。

宮澤代表理事は「当院の場合、関東信越厚生局からは『カルテ記載は1日3回』と回答があったので、真壁理事のところと同じくらいの時間で、毎日担当者が記載している。内容はバイタル、食事摂取量、消化器症状等のモニタリング。何か診療報酬で不明なことがあれば、当院には専門の部署があるのでそこから厚生局に確認してもらう仕組みになっている」と説明し、実際に問い合わせた結果を伝えました。

診療報酬関連で不明な点や不安があるとき

は、院内の担当部門に相談して、地域の厚生局に問い合わせてもらうのが一番のようです。

「オンラインサロン」は今後も月に1回のペースで実施する予定です。全国の栄養経営士や理事の先生方と直接交流できる、会員ならではの貴重な機会ですので、ぜひ奮ってご参加ください。

### ▼2月22日(水)の話題

- ・インシデントやアクシデント時の対策として、厨房との連携では何をしています?
- ・法人内の異動で管理栄養士としてのやりがいや希薄に。このままでいいか悩んでいます。
- ・HCU病棟の早期栄養介入加算について、栄養モニタリングの時間や内容を教えてください。

### ■栄養経営士 オンラインサロン

- ◇開催日時: 毎月下旬 18:30~20:00
- ◇参加対象: 栄養経営士・栄養経営サポーター
- ◇参加費: 無料
- ◇開催形式: オンライン配信(ZOOM)

※お互いの顔を見ながら会話をするので、カメラ・マイク機能を使えるパソコン・タブレットをご用意ください  
 ※後日、アーカイブ配信もあります  
 ※個別の症例の相談にはお答えできません



栄養経営士が知っておきたい!

# イベント 情報掲示板

栄養経営士に求められるのは、さまざまな情報へのアンテナを張り、自身の知識・スキルを常にアップデートしておくこと。そのための貴重な機会である、全国で開催されるイベント情報を、支部の研究会を中心に掲載します。

※新型コロナウイルス感染症対策で、イベントが中止になる場合があります。必ず最新情報を確認してください。

## 学会情報

### 第14回 日本臨床栄養代謝学会首都圏支部学術集会

「連携の先にみえるもの —戮力協心(りくりよくさようしん)の栄養サポート—」をテーマに、JSPEN首都圏支部の学術集会が開催されます。会長は本協会の宮澤靖代表理事が務めます。

- 日程：2023年5月27日(土)
- 会長：宮澤靖氏(東京医科大学病院 栄養管理科科长／日本栄養経営実践協会 代表理事)
- 参加費：【JSPEN会員】3,500円 【非会員】4,000円
- 会場：ステーションコンファレンス東京  
(千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー4~6F)
- お問い合わせ：第14回日本臨床栄養代謝学会首都圏支部学術集会運営事務局  
(株式会社インターグループ内)  
jспен\_metro2023@intergroup.co.jp



## WEBセミナー情報

### 『ヘルスケア・レストラン』トークライブ第11回 管理栄養士病棟常駐時代の第一歩はコレだ! 病院給食大改革に着手しよう

病院管理栄養士の病棟常駐を実現するには、給食業務を効率化するしかありません。具体的にはどうすればよいのか、冷凍弁当を使った事例を盛り込みつつ、医療・介護の給食のあり方について、最前線を識る栄養経営士の二人が質問に答えます。

- 日程：2023年4月12日(水) 19:00~20:00
- 回答者：阿部克幸氏(前橋赤十字病院医療技術部 栄養課課長／栄養経営士) 阿部咲子氏(手塚山大学 准教授／栄養経営士)
- 参加費：無料
- 形式：Zoom(ウェビナー)
- 主催／お問い合わせ：株式会社日本医療企画  
セミナー事務局(担当:上田)  
TEL. 03-3553-2885



## 協会事務局より

### 2023年4月期限の会員の皆様へ 【年度会費納入および資格更新のご案内】

本年4月に年度会費・会員資格の有効期限を迎える会員の皆さまに、当協会より、年度会費納入および資格更新のご案内を郵送しております。振込期限は過ぎておりますが、事務局ではまだ手続きを受け付けております。対象の方はご確認およびお手続きのほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

- 年度会費：有効期限が2022年4月20日~2023年4月19日の方  
【個人正会員】10,000円  
【栄養経営サポーター】8,000円
- 資格更新：員資格が2020年4月20日~2023年4月19日の方  
【個人正会員】15,000円(年度会費込み)  
※申請書類・課題をご提出ください。  
【栄養経営サポーター】13,000円(年度会費込み)
- お問い合わせ：一般社団法人日本栄養経営実践協会 事務局  
TEL: 03-3553-2903

## 学会情報

### 第38回 日本臨床栄養代謝学会学術集会(JSPEN)

「Jump!」をテーマに、病態別の栄養療法、多職種からなるチーム医療、それぞれの専門職種に注目したテーマといった明日からの診療に役立つ情報発信のほか、次世代の栄養治療を担う若い人材を育てるためのセッションなども予定されています。

- 日程：2023年5月9日(火)~10日(水)  
※会期後オンデマンド配信を予定
- 会長：小谷穠治氏(神戸大学大学院医学研究科外科系講座災害・救急医学分野 教授)
- 参加費：【JSPEN会員】14,000円(不課税) 【一般】15,000円(税込)
- 会場：神戸コンベンションセンター(神戸ポートピアホテル、神戸国際会議場、神戸国際展示場／神戸市中央区港島中町)
- お問い合わせ：日本コンベンションサービス株式会社 神戸支社  
e-mail:jспен2023@convention.co.jp



## 2023年「栄養経営士」資格認定試験はIBT方式で開催中です!

# 「栄養経営士」 資格認定試験

- 試験日:毎日受験可能
- 受験料:9,500円(消費税・システム利用料込み)
- 実施方法:IBT(Internet-Based Testing)方式  
※インターネットを経由しスマートフォン、タブレット端末、パソコンを使用して受験
- 受験エントリー期間:通年
- 受験資格:管理栄養士(実務経験2年以上)かつ「栄養経営士」資格認定基礎講習修了者

「栄養経営士」資格認定基礎講習は  
WEB・DVDによる受講も可能です!

DVD受講は3枚組、特典映像  
「近森病院に学ぶ実践マネジメントのすべて」付き

くわしくは

🔍 栄養経営士

検索



一般社団法人 日本栄養経営実践協会  
The Japan Association for Nutritional Management Practice

〒101-0042 東京都中央区八丁堀3-20-5 S-Gate八丁堀9F  
TEL:03-3553-2903 FAX:03-3553-2904